



和敬会だより

第150号

発行所
医療法人社団 和敬会
谷野呉山病院
富山市北代5200
<https://www.wakeikai.com>

発行人
理事長 谷野 亮一郎



発行日 令和7年2月28日

創立記念式典・仕事納め式にて謝辞を述べる永年勤続表彰者代表



医療法人和敬会

基本理念

「希望に満ちた人生の回復を目指して 私たちはあなたと共にある」

基本方針

- ・専門職がチームで関わり、あなたの価値観を大切に医療を提供します。
 - ・常に研鑽に努め、安全で質の高い医療を提供します。
 - ・広く情報公開に努め、あなたと共に考える医療を提供します。
 - ・精神科救急体制の充実や社会資源との連携を図り、地域に根ざした医療を提供します。
 - ・環境に配慮し、地球にやさしい医療を提供します。
 - ・精神疾患に対する偏見の払拭、権利擁護に努め、あなたが自らの強みを発揮できる社会づくりを推進します。
 - ・人材育成に努め、当院に勤務する職員が自らの強みを発揮できる職場づくりを推進します。
- 私たちは基本理念を胸に抱き、健全な病院経営の下で以上の基本方針を実践します。

谷野呉山病院



職員募集専用



和敬会マスコットキャラクター
ワケちゃん

『笑い』

理事長・院長 谷野 亮一郎

今回で150号を数える当法人の広報紙『和敬会だより』ですが、医療機関や行政機関など全国500か所以上に郵送させていただいております。

郵送先の中には、全く業界の違う私の幼馴染も含まれているのですが、昨年末に忘年会で集まった際に、「谷さん（私のこと）の文章、おれらはいけど、落語の話とか若い職員さん意味分かるん？」「笑わせようとしているのが見え見え」「おあとがよろしいようで、ってよろしくねえよ（笑）」などと辛辣なご意見をいただきまして（笑）

さすが40年以上つるんできた連中だけあって、お互いのパーソナリティを重々把握している間柄で、幼馴染たちは「この文章考えながらニヤニヤしてる谷さんの顔浮かぶわ」なんて思いながら『和敬会だより』に目を通していることが判明したわけです。谷野呉山病院のWebサイトで『和敬会だより』のバックナンバーをご確認いただけるとお分かりになると思うのですが、これまで真面目な話も書いてきたつもりなんですけどね。ただ、幼馴染の指摘通り、あわよくば笑わせようとしている。それも間違いありません（笑）

日本精神神経学会Webサイトのワンコーナー『精神科医のキャリアパス』でも書かせていただいたのですが、私の中の大切な価値観栄えある第1位は「笑い」です。ですから日々行っている精神療法の中にも「笑い」がほしい。以前、同じく精神科医である私の母に「診察が深刻なものになり過ぎないようにしている」と話したら、「私もそうよ」と言ってくれたので心強く感じました。診察が深刻なものになり過ぎない。あわよくば診察中に「笑い」がほしい。ただ診察中の「笑い」はあくまで匙加減だと肝に銘じています。例えば、児童相談所でお会いする虐待の被害者であるお子さんや、加害者であるご家族との面談は、その塩梅に慎重になります。

笹川美和さんのライブに初めて行ったのがコロナ禍前の2019年6月。『笑』を聴きながら、泣き笑いました。



谷野医院・総曲輪デイケアセンター デイケア祭を開催しました

デイケア祭は新型コロナ流行に伴い中止が続いていましたが、メンバーから再開希望が多く、2024年10月18日・19日の2日にわたり、4年ぶりに開催しました。

18日は、4月に就任した角谷陽平院長から「運動習慣のメリット」をテーマに判りやすくご講演いただきました。「先生のお人柄が表れた良いお話でした」との感想が聞かれました。

19日には、当院スタッフやデイケアメンバーが遊休品を提供したバザーをはじめ、うどん、たこ焼き、白玉ぜんざい、ボールすくい等の模擬店が並び、「うどんやたこ焼きがおいしかった」「ボールすくいが面白かった」など好評でした。

今回のデイケア祭は、リワーククラスのメンバーが企画を担当し、飲食メニューを決めるための試食や、作り方のマニュアル作成をしました。発達障害支援クラスのメンバーは、たこ焼きやフランクフルトの模擬店で店員として活躍しました。各クラスのメンバーが役割をこなし、楽しく充実した時間を過ごしました。

総曲輪デイケアセンター所長 小田



第43回院内学会を開催しました

11月4日に第43回院内学会を開催しました。今年も昨年と同様にオンラインと会場参加にて、計173名の職員が参加しました。11題の演題発表から、各部署の日々の活動、患者さまへの対応など、日常業務では知り得ないことを学ぶことができました。会場からは質疑応答もさかんに行われ、理解が深まったのではないかと思います。

榎戸副院長が総評で話されたように、聞いて、または発表して終わりではなく、院内学会のその後として、日々の業務に活かしていきたいと思います。

初めての実行委員会主務を通じて、実行委員・発表者・応援職員など皆さんと職種を越えて一つの行事を作り上げる経験ができたことに、心より感謝します。

第43回院内学会実行委員会 角田



研究発表、質疑応答の様子



齋喜 徳和 (ストレスケア病棟)	退院支援の一事例 ～自信を取り戻すための関わり～
西沢 百花 (クライシスケア病棟)	過去1年以内に再入院した患者の要因を探索 ～家族の面接調査から～
吉村 里奈 (33病棟)	強迫性障害に対する不安階層表を用いた取り組み
◎加賀 英俊 (薬剤部)	腎機能の臨床検査値を活用した処方監査
山西 亜紀子 (総務課)	業務改善の事例を通してペーパーレス化を考える
◎指田 友子 (コ・メディカル課)	長期身体拘束患者のベッドサイドでの運動プログラム実施による行動変化
志波 久恵 (谷野医院)	谷野医院の訪問看護の変遷からみた役割と課題
小林 利穂 (メンタルケア病棟)	メンタルケア病棟における認知症への対応の困難さ
中山 哲 (3A病棟)	困難事例に直面しての看護展開 ～ADHDの看護～
舟本 陽子 (生活支援センター)	虐待事例の支援過程から相談支援事業所の役割を考える
宮西 知広 (医局)	過去の虐待に対する怒りがEMDRにより消失した複雑性PTSDの一例

(◎は優秀論文賞)

高校1年生フィールドスタディ

12月5日に滑川高等学校、同12日に富山いずみ高等学校から、計32名の高校1年生が当院を訪れ、病院にはどんな職種・仕事があるのかを見学したり質問したりする「フィールドスタディ」に参加しました。



マイナンバーカード富山市出張申請

令和6年12月2日から保険証の新規発行が停止されました。12月10日・20日には、富山市職員が出張で来院され、入院患者さまからのカード発行申請を受け付けていただきました。これにより、カード作成を希望された29名の患者さまが手続きを終えられました。



法人の動き

月	日	事 項
11	4	第43回院内学会
11	13～	秋期職員検診
11	29	健康課実地審査・実地指導
12	5・12	高校1年生フィールドスタディ
12	10・20	マイナンバーカード富山市出張申請
12	11	職員総会
12	27	創立記念式典・仕事納め式
1	6	仕事始め式

日本精神保健福祉連盟会長表彰

丸本 薫（作業療法士）

日本精神科病院協会会員病院職員永年勤続表彰

花木 裕子（調理師）

石倉 直美（精神保健福祉士）

富山県精神保健福祉大会長表彰（15年勤続）

高野健太郎（看護師）

竹内 智美（調理師）

竹内 稔（看護補助者）

富山県医師会医療従事者表彰（10年勤続）

中山 哲（看護師）

松井 由恵（看護補助者）

麻柄 宣子（看護師）

西尾 昌和（准看護師）

小林 和美（看護補助者）

永年勤続表彰者

各種表彰

和敬会永年勤続者表彰

30年表彰

石倉 直美（精神保健福祉士）

20年表彰

野村うちぬ（事務員）

辻井 雅紘（看護補助者）

伊勢 美鈴（看護師）

渡辺 彬子（精神保健福祉士）

竹内 佑也（看護師）

志波 久恵（精神保健福祉士）

五十嵐美恵子（調理員）

15年表彰

高野健太郎（看護師）

竹内 智美（調理師）

竹内 稔（看護補助者）

10年表彰

麻柄 宣子（看護師）

西尾 昌和（准看護師）

小林 和美（看護補助者）

若狭 亜耶（調理師）

山本 恵（事務員）

石橋 良美（看護師）

酒井 麗子（薬剤補助）

みなさん、
おめでとう
ございます！



紙面に掲載されている患者さまの写真につきましては、掲載に際して、ご本人または保護者のご了承を頂いております。

編集後記

2025年を迎え、能登半島地震からもう1年が経ったのかと驚き、さらに復旧が道半ばのところ到大雪が降り、力及ばぬもどかしさを覚えます。また、阪神淡路大震災からちょうど30年となり、現地ではその体験の継承が課題とのこと。谷野呉山病院は「呉羽山断層」の真上に建っていると言われており、明日は我が身かも、いう心構えを忘れないようにしたいです。
(志)